

## 大賞 『颯娃シーホーウォーク』



所在地 南九州市颯娃町別府

活動団体 特定非営利活動法人 颯娃おこそ会

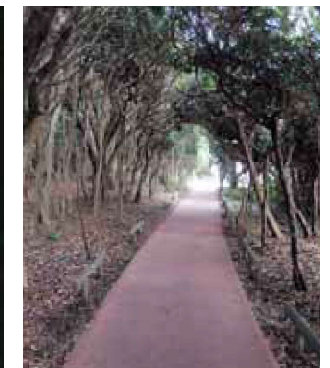
### 概要

釜蓋神社と番所鼻自然公園を結ぶ番釜海岸は、10万年前に発生した溶岩流地帯と7つの小さな砂浜が交互に現れる変化に富んだ魅力的な自然景観を連ねているが、地元の釣り人しか訪れない知られざる場所であった。住民らの取組により、子供でも安心して楽しめるウォーキングコースとして生まれ変わり、県内外の方々を美しい景観でおもてなしできる場所となっている。

### 講評

全長約2.5kmのコースを一日かけてゆっくり回れば、朝夕で全く異なる魅力的な景観を見ることができ、国立公園級の雄大な海岸を肌で感じることができる。特定非営利活動法人颯娃おこそ会の活動が、地域にある宝を再発見し、まちづくりに大切な「若者」、「ばか者」、「よそ者」が寄って、1つのストーリーを作りあげた好事例といえる。また、訪れた方が気楽に挑戦できるコースを住民らの提案で作られている点や、地域の活性化に寄与している点も県内のモデル的な取組として高く評価できる。

今後とも、このような取組が県内各地ではじまり、鹿児島に点在する誇るべき景観が改めて認識され、県民共通の資産として守り、育てられることを期待したい。



## 優秀賞 『蒲生郷エリアの地域ブランディング』



**所在地** 始良市蒲生町麓 **活動団体** 特定非営利活動法人 Lab蒲生郷

### 概要

蒲生郷エリアは、県本土の中央部に位置し、特に日本一「樹」蒲生のクスをはじめ、美しい自然環境を背景に、県下でも数少ない薩摩古流の兵法に基づく町割りや武家門・石垣が残っている地域である。“[今のままの蒲生]であり続けて欲しい”という基本コンセプトの下、住民らを中心とした取組が行われており、地域の歴史を踏まえた大型案内看板やサインにより、統一されたまち並みを創出している。

### 講評

県内に幾つかの麓集落はあるが、特定非営利活動法人Lab蒲生郷らの活動は、統一されたコーポレートアイデンティティ戦略の導入や古民家をカフェに活用した取組などが現代風かつユニークであり、麓集落全体の新たな方向性を示している。単なる武家門・石垣の保存や復元ではなく、このような“地域ブランディング”という優れた活動が、地域の声を集約した上で、持続的に展開されてきた点も高く評価される。

地域活力の衰退が全国各地で見受けられる中、これからは住民等との協働が促進され、この取組が地域おこしにつながる好事例となるよう期待する。

## 優秀賞 『阿権300年ガジュマルと石垣の小道』



**所在地** 大島郡伊仙町阿権 **活動団体** 阿権婦人会

### 概要

伊仙町阿権集落にある大木は「300年ガジュマル」とよばれ、集落住民から親しまれている。このガジュマルが根ざしているのは、徳之島最大規模の石垣であり、その景観は自然と歴史の重層性をより高めている。また、住民自ら集落を案内する“まちあるき”やカフェ、バザーなどを積極的に開催しているなど、地域資源を生かした地域活性化策が展開されている。

### 講評

樹齢300年の大木であるガジュマルと整然と積み上げられたサンゴ石垣があいまった景観は、南国特有の情景を醸し出している。阿権集落での取組は、活動規模が広範囲に及ぶにも関わらず、婦人会を中心に子どもからお年寄りまで地域ぐるみで維持管理に励んでおり、徳之島の新たな名所を生み出した。また、日常生活からは忘れがちな地域固有の景観を、“まちあるき”等の取組を行うことにより、地域住民に再認識させている点も評価したい。

歴史と自然の調和が味わえるこの景観が維持され、今後も、地域の宝として将来の世代に引き継がれることを願ってやまない。

**奨励賞** 『ひらかわ美術館』



※改装中



**所在地** 鹿児島市常盤一丁目 **活動者** 平川あさみ

**概要**

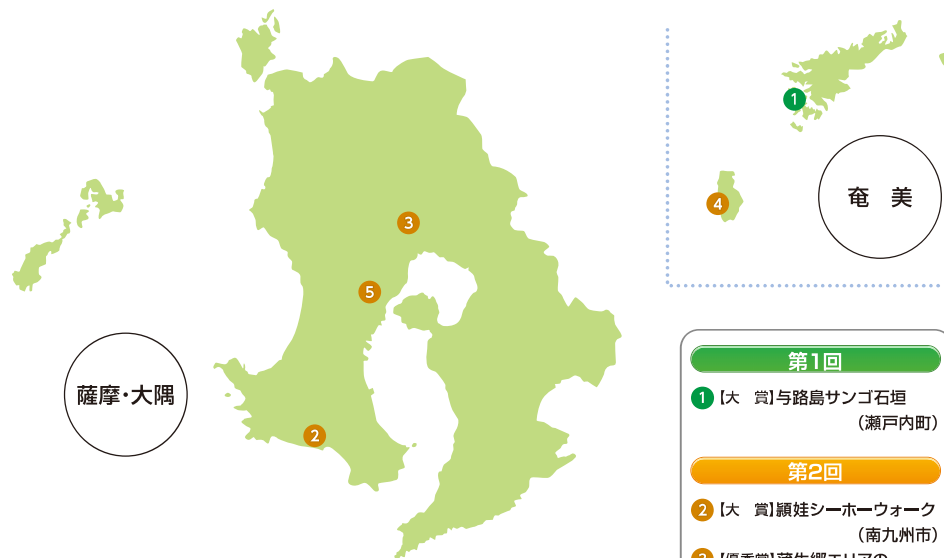
鹿児島市常盤町の水上坂は、昔は参勤交代のルートとして、現代では妙円寺詣りのルートとして有名である。ひらかわ美術館は、その水上坂の中ほどに位置する。宅地開発が進む鹿児島市内にありながら自然を残した風光明媚な環境を守りつつ、また、築60年の古民家を再生した美術館とその庭園が美しい景観を形成している。

**講評**

歴史ある建築物と四季折々の植栽が織り成す景観は、訪れる者の目を楽しませ、縁側に佇み庭先を眺めれば、時間の流れを忘れさせてくれる。また、由緒ある表門から一歩外に出れば鹿児島のシンボルである桜島が望め、当時の息づかいが聞こえてくるようである。消失しかかっていた優れた建築物や庭園を保存・維持している市民の努力に敬意を表する。

都市開発の波に巻き込まれる中、このような景観を残していること、景観維持に係る課題を県下に提供していることを考えると、まさに奨励賞としてふさわしい。

**受賞箇所一覧**



薩摩・大隅

奄美

**審査について**

景観づくり部門では、「景観を守り、育て、また、新たに創出するための『活動に取り組んでいる』個人又は団体」を表彰することとしている。

今回は、自薦・他薦を含め16件の応募があり、1次審査にて2次審査へ進む案件を8件に絞り込んだ。2次審査には表彰案件以外に、「入来麓伝統的建造物群保存地区」「くろしおアートプロジェクト」「須子茂集落の生け垣」「特色ある“学校緑化”」が選定された。

ともに、高い評価を受けたものの惜しくも表彰には至らなかったが、今後、益々の取組の推進に期待している。

また、応募のあった他の取組についても、引き続き、規模と内容の充実に向けていただき、地域の方々が愛着と誇りを持てる景観の創出に取り組み続けて欲しい。

- 第1回**
- 1 [大賞] 与島サンゴ石垣 (瀬戸内町)
- 第2回**
- 2 [大賞] 顕娃シーホーウォーク (南九州市)
  - 3 [優秀賞] 蒲生郷エリアの地域ブランディング (給良市)
  - 4 [優秀賞] 阿権300年ガジュマルと石垣の小道(伊仙町)
  - 5 [奨励賞] ひらかわ美術館 (鹿児島市)



須子茂集落の生け垣(瀬戸内町)



入来麓伝統的建造物群保存地区(薩摩川内市)



特色ある“学校緑化”(伊仙町)



くろしおアートプロジェクト(西之表市)